

ネットワークを活用したIoTデバイス開発 人と協働できるロボット技術で より快適で豊かな社会を実現

Piezo Sonic

Piezo Sonic（中央営業所：大田区大森南、多田興平社長、03・6379・6020、モーター事業 <https://www.piezo-sonic.com/>、ロボット・デバイス事業 <https://www.piezo-sonic.co.jp/>）は、「超音波モーター」の開発・製造販売、モーター制御機器の開発・製造・販売および自律移動ロボットシステムの開発、センサとネットワークを利用したIoTデバイスの開発、製品開発コンサルティングを行っている。人々の生活を支え協働できるロボット技術を開発し、より快適で豊かな社会の実現をめざす。

特に、同社の「超音波モーター」は磁場環境用として優れた性能を誇り、カメラ・センサ・GPSを利用して環境データを取得し、目標地点への経路を自動的に生成して人や障害物を自動回避しながら走行する「自律移動ロボット」などを開発した。さらに、そのロボット開発技術を用いた応用製品とし



て、MRI内で利用可能な点滴装置の開発に取組み、大田区ビジネスプランコンテストで「よい仕事おこし賞」を受賞するなど高く評価されている。

多田社長は、約20年「超音波モーター」の開発に従事してきた。宇宙探査機、医療機器用超音波モーター開発の実績もある。現在は『大学十先端ベンチャー企業+大田区ものづくり企業』の技術を集結させ、大田区のバックアップのもとで、歩道を走行する「自律走行モビリティ」の開発に注力している。「モーターの駆動回路やロボットに欠かせないセンサ・FPGAを利用した応用回路、ネットワークを用いたIoTデバイスで、自社とパートナー・メーカーの『共創』によりまだ見ぬロボットを創ってみせる」と多田社長は想いを込めて語る。